

5 重点事業

下の里からかれ枝を
ひろいに来ます
この辺ではこの事を
コクマをかくと云ひます



生駒翠山が描いた絵はがき「コクマカキ（枯れ枝拾い）」（昭和2年11月）

5 重点事業

市民の生活の場である「まちなかの緑」を対象として、4つの重点事業を設定します。

緑の基本計画の実現に向けて、優先的に重点事業に取り組み、本市におけるグリーンインフラを活用した都市基盤を構築します。

① 4つの重点事業

重点事業1 田辺公園拡張整備事業の推進

- ① 多様な市民が緑と農に親しむ交流拠点づくりをします。
- ② 市民とともに創造しながら進化し続ける公園づくりをします。

重点事業2 公園・街路樹のリ・デザインに向けたモデル事業の推進

- ① 魅力的な街区公園や街路樹に向けて、再整備を進める手法と手順を検討します。
- ② 地域住民との協働により、モデルとなる公園・街路樹整備に取り組みます。

重点事業3 水と緑のネットワークづくりのための水辺の散策路事業のさらなる推進

- ① 既存ルートについて、環境整備や周囲の見どころの紹介を充実します。
- ② ルートが設定されていない空白エリアについて、新たにルートを設定します。

重点事業4 天理山古墳群の特別緑地保全地区への位置づけと活用事業の推進

- ① 歴史的・文化的価値を有する緑地として、特別緑地保全地区の位置づけを行います。
- ② 天理山古墳群から酬恩庵一休寺周辺や甘南備山まで、歴史・観光のまちづくりに取り組みます。



重点事業 1 田辺公園拡張整備事業の推進

① 多様な市民が緑と農に親しむ交流拠点づくりをします。

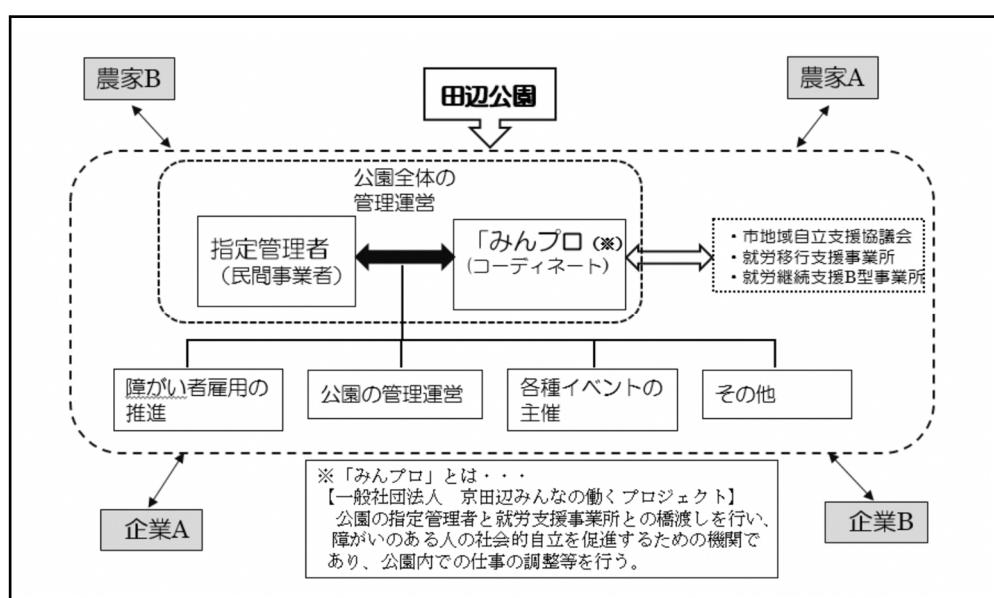
- 田辺公園の拡張整備区域〔愛称：京田辺クロスパーク（タナクロ）〕の管理運営について、本市初のPark-PFI事業として、官民連携により進めます。
- こどもから高齢者、障がいのある人等全ての多様な市民が農体験を通じて、緑化活動や食育、健康・生き甲斐づくり等の気運が高まり、参加した市民の間に交流が生まれることを期待します。
- 子どもの食育を進めるために、田辺公園で収穫された農産物を活用します。
- 芝生広場や大きな砂場では、多世代の市民が交流できる拠点づくりを進めます。
- 公園の管理や運営の一部に障がいのある人が関わることで、将来の社会的自立に向けた就労訓練・支援の場として活用します。
- (一社)京田辺みんなの働くプロジェクトが民間事業者と福祉事業者の調整を行い、障がいのある人の働く場を確保していきます。



大きな芝生広場



ビニールハウス内の高床式砂栽培は農作物を腰の高さで栽培するので誰でも楽に収穫できます



Park-PFI事業者と福祉事業者の連携

② 市民とともに創造しながら進化し続ける公園づくりをします。

- ・ 果樹や竹林がそのまま残り、必要最小限の整備を行った状態で開園させる西側のエリアを「進化し続ける公園」「自然を生かした生物との共生を学ぶエリア」と位置づけて、子どもの自然体験や食育を学ぶ拠点として活用していきます。
- ・ 子どもや大人、障がいのある人等多様な人と一緒にプレーパークを創り上げていきます。なお、プレーパークとは、子どもが「遊び」をつくる遊び場のことを意味します。
- ・ 最低限のルールを設けて、大人のプレーリーダーが見守りながら高木でツリーハウスを作ったり、たき火をしたり、焼き芋を焼いたり、泥遊びをしたりするなど、子どもの創意工夫が最大限に発揮できる遊び場としていきます。
- ・ 東側の大きな砂場では、子どもが全身を使いながら大きな造形を行うことを通じて、想像力と創造力を養いながら、子どもの発達・成長に大きな役割を果たしていく場を提供していきます。

«こどもたちとつくる遊び場»



出典元：宝が池プレイパーク



出典元：認定 NPO 法人
プレーパークせたがや



(一社) 京田辺みんなの働くプロジェクトが
法人の活動と田辺公園拡張整備事業の PR を
行った「みんフェス 2023」における
砂遊びイベント